

峰山学園保幼小中一貫教育だより

ほっとニュース地域版 第5号【R3年9月号】

発行: 峰山学園事務局
連絡先: 0772-62-0359
FAX: 0772-62-7987
Mail: mineyama-jhs
@kyoto-be.ne.jp

暑い日が続いた夏休みも終わり、2学期が始まりました。緊急事態宣言が発出されている関係で、始業式はリモート形式で行った学校もありました。各校では、感染予防に関わって気を付ける点を再度確認して学校生活が始まっています。9月に予定していた行事もやむなく変更となった行事もあります。宣言下の中での2学期スタートですが、知恵を出し合いながら子ども達の充実した学校生活の実現に向け、努力を重ねていければと思います。



峰山小学校: 間隔を十分とって始業式を体育館で行いました。転入生2名の紹介がありました。



いさなご小学校: 8月8日に保護者の方にお世話になり環境美化作業が行われ気持ちよく2学期がスタートできました。



しんざん小学校: 作品展を鑑賞する子ども達。タブレットに作品を見ての感想を入力しています。操作に慣れてきました。



長岡小学校: 地域貢献活動として校区のパチンコ店がウイルス等の除菌に光触媒コーティングをしてくださいました。



峰山こども園: 9月1日に異年齢グループでコーナーを回ってプール終わりの会を楽しみました。



ゆうかり子ども園: 運動会の練習が始まっています。音楽に合わせてかっこよく踊ります。本番の仕上がりが楽しみです。



峰山中学校: オンラインで始業式が行われ各教室で校長先生の式辞を聞きました。感染症に関わる注意点も確認しました。



峰山中学校: 夏休み中に美術部が体育祭のパネルを制作しました。パネルのお披露目は少し先になってしまいました。



連携事業: 夏休み中に峰山こども園の保育の様子を小1担任会、教育相談部合同で参観しました。



体育祭 と 運動会



秋に予定していた中学校の体育祭は10月7日(木)に延期されご家族だけの参観で行われる予定です。また長岡小・いさなご小の地域と合同の運動会も学校のみで行うことができず何とか行おうとすることができないかと形を変えるなどの工夫や調整が図られています。体育的な行事が多い「スポーツの秋」ですが、コロナ禍にあるため難しい局面を抱えています。“子ども達のために”と踏ん張る学校を温かく見守って頂けるとありがたいです。

丹後ブロック中学校総合体育大会 健闘！！

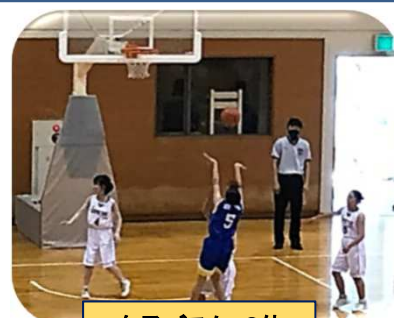
7月17日、21日、22日、23日の4日間に渡り各会場で総合体育大会が行われました。コロナ禍の中、十分な練習やチーム作りができたとは言い難い状況がありましたが、3年生にとっては最後の大会、1・2年生も共に練習を重ねてきた思いを試合や競技に発揮し、どの部も奮闘しました。生徒の熱い思いが伝わる熱戦が各会場で繰り広げられました。



陸上競技：総合準優勝
男子4位 女子準優勝



野球：準優勝



女子バスケ：3位



男子テニス：3位



サッカー：ベスト4

体操：男子・女子準優勝
女子テニス：ベスト8

1回戦で敗退した部もありましたが、どの部も最後まで粘り強く戦い抜き、汗と涙で有終の美を飾りました。

吹奏楽部：京都府吹奏楽コンクール 銅賞

峰山学園夏季研修会をリモートで実施

8月20日(金)に峰山学園夏季研修会が行われました。緊急事態宣言が発出されたので急遽、リモートによる開催となりました。基調提案では峰山学園の保幼小中一貫教育の取組による成果等をデータで示し峰山学園が大事にしてきたことを確認しました。今後もそれぞれの発達段階を考慮して「目指す子ども像」や「育みたい力」に基づいた取組や実践を大切にしていくことが重要であることを確かめ合うことが出来ました。また、後半は学習院大学教授、東京大学名誉教授の秋田喜代美様に「子どもを育む保幼小中連携：子どもの姿でつなぐ つながる」と題してZoomでご講演頂きました。東京と京丹後が画面で繋がって学ぶことができ、時代の流れも痛感する研修会となりました。



全体会は峰山中学校から配信し、各小学校で視聴。講演は東京から配信し、各小中学校で視聴しました。

【先生方の感想から】～学び多き研修会～学んだことを2学期の実践に繋いでいこう！

- ・峰山学園の一貫した教育が園小・小中の接続を円滑にしていることを改めて実感しました。授業づくりでは、小学校課程で大切にしている話し合い活動のスタイルが中学校の学習活動に活かされていることを聞き、小学校からの円滑な指導の工夫や継続の重要性について考える機会になりました。
- ・子どもを固定した目、枠で捉えないこと、うまくいかない時間の子どもの心の動きを捉えること等、心に残るワードがたくさんありました。子どもが生き生きと取り組んでいる姿、夢中になっている表情でいっぱいになる教育(支援)を行いたいと思います。
- ・子ども達にとって大切なことは「他者と学ぶ」「学び続ける」ことなのだを改めて学んだ。①課題と出会い、じっくり向き合う ②仲間と関わり聴きあう ③新しい価値や良さに気づく ④自ら学び振り返り、学びを味わう。教師はそこに寄り添う。秋田先生のお話をお聞きし、子ども達の知的好奇心を大切にしながら「できないをどうにかしようとする愛おしさ」をしっかりと見取っていきたく改めて感じた。
- ・保幼小中連携が大切だからこそ、保幼で学んで身に付けたことや、小学校で学ぶこと、中学校で学んでいくことを系統的に理解しておくことが必要だと感じました。